Report (報 告)

北アルプス蝶ヶ岳の稜線でオバシギを観察

小 島 桂*・小島治好**

A Snipe, the Great Knot (*Calidris tenuirostris*), at the Ridge of Northern Alps, Tyougatake

Katsura Kojima* and Yoshiharu Kojima**

図 1. クロマメノキの実を食べるオバシギ *Calidris tenuirostris*.

Fig. 1. A Great Knot, *Calidris tenuirostris*, eating a berry of the alpine plant *Vaccinium uliginosum*.

Received 15 April 2005.

* 独立行政法人農業生物資源研究所, 〒305-8602 茨城県つくば市観音台 2-1-2.

** 〒381-0025 長野県長野市北長池 1198-1.

* National Institute of Agrobiological Sciences, 2-1-2 Kan-nondai, Tsukuba, Ibaraki 305-8602, Japan.

** 1198-1, Kita-nagaike, Nagano, Nagano 381-0025, Japan.

1997年9月9日、午後3時頃、長野県南安曇郡安曇村、蝶ヶ岳ヒュッテから約600 m北の稜線（標高約2,600 m）で、クロマメノキ *Vaccinium uliginosum* の実を啄ばんでいるオバシギ *Calidris tenuirostris* を写真撮影したので報告する（図1）。この鳥は嘴が長めで黒く、胸に顕著な黒斑があり、背・肩羽・雨覆が黒褐色で羽縁が白いことから、幼羽のオバシギである。シギ・チドリ類のわが国の高山帯での報告は珍しいが、彼らが繁殖しているツンドラの環境は、おそらくこのようなものであろう。なお、この鳥が高山まで吹き上げられるような、9月9日以前の台風などの記録は気象庁の記録を見る限り見当たらなかった。

写真から種と齢を同定していただいた山階鳥類研究所の茂田良光氏に深く感謝する。